



# フェデレーション設定の電子メールアドレス

この章では、フェデレーション機能と複数のドメインを設定する電子メールアドレスについての情報を提供します。

- [フェデレーション有効化用電子メール, 1 ページ](#)
- [フェデレーション用電子メールアドレスの考慮事項, 2 ページ](#)
- [フェデレーションの設定および電子メールのドメイン管理用電子メールアドレス, 5 ページ](#)

## フェデレーション有効化用電子メール

フェデレーション機能用に電子メールアドレスをオンにすると、IM and Presence サービスによって、ローカルユーザの JID が連絡先の電子メールアドレスに変更されます。

クラスタ間配置では、すべてのクラスタ間ノード上でフェデレーション用の電子メールアドレスを有効にする必要があります。フェデレーション機能用の電子メールをオンにした後は、Cisco XCP Router サービスを再起動する必要があります。

XMPP フェデレーション導入環境の場合、フェデレーション機能用の電子メールアドレスは、現在マルチクラスタ IM and Presence サービス導入での一時的または永続的なチャットルームをサポートしていません。ローカルドメインに複数の IM and Presence サービス クラスタがある導入シナリオでは、ローカルユーザの実際の JID をフェデレーション対象ユーザに送信できます。チャットルームに対する唯一の影響は、フェデレーション対象ユーザに表示される名前が、ローカルユーザの電子メールアドレスではなくローカルユーザのユーザ ID であることです。その他のチャットルームの機能は通常どおりに機能します。このような状況は、フェデレーション対象ユーザとの一時的なチャットルームとパーシステントチャットルームでのみ発生します。

SIP および XMPP フェデレーションのフェデレーション機能の電子メールアドレスに関する詳細とこの機能を有効にする手順に関する詳細については、フェデレーション設定の電子メールアドレスに関するトピックを参照してください。

## 関連トピック

[フェデレーション用電子メールアドレスの考慮事項, \(2 ページ\)](#)[フェデレーション用電子メールの有効化, \(5 ページ\)](#)

## フェデレーション用電子メールアドレスの考慮事項

SIP または XMPP フェデレーションに電子メールアドレスを使用するために IM and Presence サービスを設定する場合、IM and Presence サービスは、フェデレーションの連絡先とのすべての通信において、ローカルユーザの IM アドレスをそのユーザの電子メールアドレスに置き換えます。

ドメイン間フェデレーション用の電子メールアドレスを有効にする場合は、以下の点に注意してください。

- 外部ドメインとのフェデレーションはまだ行わないが、フェデレーション用の電子メールアドレスを有効にする必要がある場合は、ユーザがフェデレーテッド連絡先を追加する前にこの設定を有効にすることをお勧めします。
- フェデレーション用の電子メールアドレスを有効にした場合でも、ユーザが Active Directory で電子メールアドレスを設定していなければ、IM and Presence サービスではそのユーザの JID がフェデレーション用として使用されます。
- この機能は、各ユーザに対する Cisco Unified Communications Manager の [メール ID (Mail ID)] が、そのユーザの完全な電子メールアドレスに一致していることが前提条件となります。  
ユーザの [メール ID (Mail ID)] フィールドに何も指定されていない場合、または完全な電子メールアドレスが指定されていない場合は、IM and Presence サービスのデフォルトの動作として、そのユーザの IM and Presence サービス JID がフェデレーション用に使用されます。
- フェデレーション用の電子メールアドレスを有効にした場合、フェデレーション コンタクトで使用されるのが電子メールではなく、IM and Presence サービスユーザの JID であれば、(そのユーザに有効な電子メールアドレスが設定されているとしても) これらの要求は IM and Presence サービスによりドロップされます。
- IM and Presence サービスでは、フェデレーション機能用の電子メールアドレスに対する電子メールエイリアスはサポートされていません。



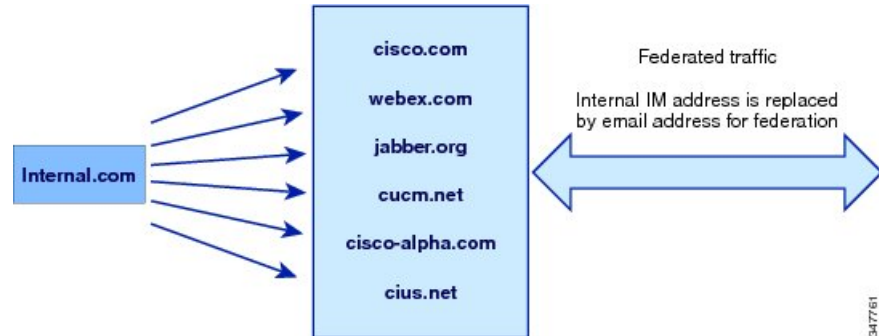
(注)

この機能は、SIP フェデレーションと XMPP フェデレーションのどちらの場合にも適用することができます。

## 複数のドメイン間フェデレーションサポートの電子メールアドレス

フェデレーション機能用の電子メールアドレスは、複数のドメインをサポートします。次の図は、フェデレーテッドトラフィックに使用される複数の電子メールドメインの例を示しています。

図 1: 複数のドメインのフェデレーションサポート用電子メールアドレス



ローカルの IM and Presence サービス導入環境で、複数の電子メールドメインを管理する場合は、ローカル電子メールドメインごとに必要な DNS SRV レコードを公開する必要があります。

XMPP フェデレーションの場合、cup-xmpp-s2sセキュリティ証明書はすべてのローカル IM および電子メールドメインがサブジェクト名代替名として含まれている必要があります。

## 電子メールのドメイン設定の概要

フェデレーション機能用の電子メールアドレスに使用する電子メールドメインの手動による追加および編集は、オプションです。IM and Presence サービスでは、それぞれのユーザの電子メールアドレスごとに一意のドメインが自動的に読み込まれ、その情報がフェデレーション機能用の電子メールアドレスに使用されるためです。

IM and Presence サービス用にまだ設定されていないユーザが存在するドメインがあり、それらのユーザを設定する予定であれば、**Cisco Unified CM IM and Presence Administration** のユーザインターフェイスを使用してそれらのドメインを IM and Presence サービスに手動で追加できます。現在ユーザが割り当てられていないドメインは、ユーザインターフェイスにローカル電子メールドメインとして自動的に表示されません。

フェデレーションの電子メールアドレスに使用されるユーザドメインは、[Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザインターフェイスの [電子メールドメイン (Email Domain)] ウィンドウにシステム管理ドメインとして表示されます。これらは、ユーザインターフェイスで設定できません。

## 外部ドメインの管理者に提供する情報

フェデレーション用の電子メールアドレスを有効にする場合は、外部ドメインのシステム管理者に対して以下のような注意事項を事前に通知する必要があります。

- フェデレーション用の電子メールアドレスを使用していること、および外部ドメイン内のユーザは、フェデレーテッド連絡先を連絡先リストに追加する際、電子メールアドレスを指定する必要があること。
- 外部ドメインとのフェデレーションをすでに行っており、かつフェデレーション用の電子メールを有効にする必要がある場合、外部ドメイン内のユーザは、連絡先リストにある既存のフェデレーテッド連絡先をいったん削除した後、それらのフェデレーテッド連絡先を再び追加したうえで、電子メールアドレスを指定する必要があること。

## IM and Presence サービス ユーザに提供する情報

フェデレーション用の電子メールアドレスを有効にする場合は、すべての IM and Presence サービス ユーザに以下の情報を通知する必要があります。

- フェデレーテッド連絡先では、`user_id@domain` アドレスではなく、電子メールアドレスが使用されるようになったこと。
- フェデレーテッド連絡先は、新しいコンタクトを連絡先リストに追加する際、`user_id@domain` の代わりに IM and Presence サービス ユーザの電子メールアドレスを使用する必要があること。
- (フェデレーション ウォッチャの連絡先リスト上で) `user_id@domain` を指定して追加された既存の IM and Presence サービス コンタクトについては、いったん削除した後、IM and Presence サービス ユーザの電子メールアドレスを指定して追加し直す必要があります。
- IM and Presence サービスがフェデレーション コンタクトから受け取った `user_id@domain` アドレス宛てのメッセージはいずれもドロップされます (ただし、そのアドレスが **Active Directory** に設定されている電子メールアドレス、および IM and Presence サービスのユーザテーブルに設定されているアドレスと同じである場合は除きます)。
- IM and Presence サービス ユーザの連絡先リストにフェデレーテッド連絡先がすでに追加されている場合は、その IM and Presence ユーザがクライアントに再度サインインした時点でそのフェデレーテッド連絡先に対し電子メールアドレスをポップアップで表示することができるとのこと。



---

(注) フェデレーション用の電子メールアドレスを有効にすると、IM and Presence サービス ユーザは、IM and Presence サービスへの接続時にクライアント上でデータを変更したり、別途 IM and Presence サービス ノードとデータのやり取りをしたりする必要がなくなります。

---

## 電子メールのドメイン管理の連携動作と制限事項

- ローカルクラスタに関連付けられている管理者が管理するドメインのみを追加または削除できます。
- システムが管理するドメインは編集できません。
- 他のクラスタに関連付けられている、システムが管理するかまたは管理者が管理するドメインは編集できません。
- 2個のクラスタでドメインを設定することはできますが、ピアクラスタのみで使用されている場合に限りです。これは、ローカルクラスタのシステムが管理するドメインとして表示されますが、ピアクラスタで使用中等であると識別されます。
- TLS を介する XMPP フェデレーションでは、IM アドレス ドメインを追加または削除する場合に、TLS 証明書 `cup-xmpp-s2s` を再生成する必要があります。

## フェデレーションの設定および電子メールのドメイン管理用電子メールアドレス

### フェデレーション用電子メールの有効化



- (注) クラスタ間導入では、すべてのクラスタ間ノード上でフェデレーション用の電子メールアドレスを有効にする必要があります。

#### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザ インターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [設定 (Settings)] を選択します。
- ステップ 2** [ドメイン間フェデレーションで電子メールアドレスの使用を有効化 (Enable use of Email Address for Inter-domain Federation)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** 警告メッセージに目を通し、[OK] をクリックします。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5** フェデレーション用の電子メールをオンにしたら、Cisco XCP Router を再起動します。[Cisco Unified IM and Presence Serviceability] ユーザ インターフェイスにログインします。[ツール (Tools)] > [コントロールセンタのネットワーク サービス (Control Center - Network Services)] を選択します。

## 関連トピック

[フェデレーションのルーティングパラメータの設定](#)

# 電子メールドメインを表示する

システム管理ドメインおよび管理者によって管理されるローカルドメインは、[Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザインターフェイスの [電子メールドメインの検索/一覧表示 (Find and List Email Domains)] ウィンドウに表示されます。また、このウィンドウでは、各管理者が管理するドメインがローカルクラスタ、ピアクラスタ、またはその両方で設定されたかどうかを示します。

## 手順

[Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザインターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [ドメイン間フェデレーション (Inter-Domain Federation)] > [電子メールフェデレーションドメイン (Email Federated Domains)] を選択します。[電子メールドメインの検索/一覧表示 (Find and List Email Domains)] ウィンドウが表示されます。

# 電子メールドメインを追加または更新する

[Cisco Unified CM IM and Presence Administration] のユーザインターフェイスを使用してローカルクラスタに手で IM アドレスドメインを追加することで、ローカルクラスタにある IM アドレスドメインを更新できます。

最大255文字のドメイン名を入力でき、各ドメインはクラスタ全体で一意である必要があります。使用できる値は、大文字または小文字 (a ~ z, A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、ハイフン (-)、またはドット (.) です。ドットは、ドメインラベル区切り文字として機能します。ドメインラベルの先頭文字をハイフンにすることはできません。最後のラベル (たとえば、.com) の先頭文字を数字にすることはできません。たとえば、Abc.1om は無効なドメインです。

システムが管理するドメインと、管理者が管理するローカルドメインが [ドメインの検索と一覧表示 (Find and List Domains)] ウィンドウに表示されます。また、このウィンドウでは、各管理者が管理するドメインがローカルクラスタ、ピアクラスタ、またはその両方で設定されたかどうかを示します。

システム管理ドメインは使用中のため、編集できません。その IM アドレスドメインではシステムにすでにユーザが存在しない場合 (たとえば、ユーザの削除により)、システム管理ドメインは、自動的に管理者管理ドメインになります。管理者の管理ドメインは編集または削除できます。

## 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザインターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [ドメイン間フェデレーション (Inter-Domain Federation)] > [電子メールフェデレーションドメイン (Email Federated Domains)] を選択します。

[電子メールドメインの検索/一覧表示 (Find and List Email Domains)] ウィンドウが開き、管理者およびシステムによって管理されたすべての電子メールドメインが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

- [新規追加 (Add New)] をクリックすることで、新しいドメインを追加します。[電子メールドメイン (Email Domain)] ウィンドウが表示されます。
- ドメインのリストから編集するドメインを選択します。[電子メールドメイン (Email Domain)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 新しいドメイン名を [ドメイン名 (Domain Name)] フィールドに入力し、[保存 (Save)] をクリックします。

最大 255 文字の一意のドメイン名を入力します。使用できる値は、大文字または小文字 (a ~ z、A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、ハイフン (-)、またはドット (.) です。ドメインラベルはハイフンで始めないでください。また、最後のラベル (たとえば、.com) は数字で始めることはできません。

**ヒント** 警告メッセージが表示されます。TLS XMPP フェデレーションを使用している場合は、新しい TLS 証明書を生成する手順に進む必要があります。

## 電子メールドメインを削除する

**Cisco Unified CM IM and Presence Administration** のユーザインターフェイスを使用して、ローカルクラスタ内にある管理者が管理する電子メールアドレスドメインを削除できます。

システム管理ドメインは使用中のため、削除できません。その電子メールドメインではシステムにすでにユーザが存在しない場合 (たとえば、ユーザの削除により)、システム管理ドメインは、自動的に管理者管理ドメインになります。管理者の管理ドメインは編集または削除できます。



(注) ローカルクラスタとピアクラスタの両方に設定された管理者の管理ドメインを削除すると、ドメインは管理者の管理ドメインのリストに保持されます。ただし、そのドメインはピアクラスタでのみ設定済みとマークされます。完全にエントリを削除するには、設定されたすべてのクラスタからドメインを削除する必要があります。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザインターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [ドメイン間フェデレーション (Inter-Domain Federation)] > [電子メールフェデレーションドメイン (Email Federated Domains)] を選択します。

[電子メールドメインの検索/一覧表示 (Find and List Email Domains)] ウィンドウが開き、管理者およびシステムによって管理されているすべての電子メールアドレスドメインが表示されます。

**ステップ 2** 次の方法の1つを使用して削除する管理者の管理ドメインを選択し、次に[選択項目の削除 (Delete Selected) ]をクリックします。

- 削除するドメインの横のチェックボックスをオンにします。
- 管理者の管理ドメインのリストのドメインをすべて選択するには、[すべてを選択 (Select All) ]をクリックします。

**ヒント** すべての選択をクリアするには、[すべてをクリア (Clear All) ]をクリックします。

**ステップ 3** [OK] をクリックして削除を確定するか、[取消 (Cancel) ]をクリックします。

---